

計画の名称	熱海市水道施設耐震化等事業計画													
計画の期間	令和０７年度 ～ 令和１０年度（４年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	熱海市													
計画の目標	来宮浄水場は、丹那隧道の湧水を水源とする浄水施設であり、マイクロストレーナと消毒のみの処理方式である。 過去に大腸菌の検出履歴があり、今後も検出される恐れがあることから、浄水方法を膜ろ過方式に更新し、水質の改善を図るとともに、老朽化した浄水施設全体の更新を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		3,855	Ａ	3,855	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R10末
1	高度浄水処理率の向上（R7 12% → R10 61%） 高度浄水処理率：大腸菌・クリプトスポリジウム等を除去可能な膜ろ過方式・紫外線処理方式等による浄水量の割合	12%	%	61%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	熱海市	直接	熱海市	－	－	来宮浄水場再整備事業	高度浄水施設(膜ろ過施設)の 整備	熱海市	■	■	■	■		3,855	1.27	策定済
											小計						3,855		
											合計						3,855		

事前評価チェックシート

計画の名称： 熱海市水道施設耐震化等事業計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤当該事業を実施する水道事業者等においてPPP/PFI手法の導入が検討されているか。（事業費 10 億円以上のもの）	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（当該事業に係る要望等）	○

熱海市施設平面図

S=1 : 25,000



A07-001 来宮浄水場再整備事業

丹那水源

①	泉水系
②	日金沢水系
③	丹那隧道水系
④	和田山水系
⑤	土橋水系
⑥	宮川水系
⑦	中野水系
⑧	下多賀高区水系
⑨	上多賀水系
⑩	和田木水系
⑪	柿田川(一里茶屋)水系
⑫	柿田川(相の原)水系

